



福中だより

昭島市立福島中学校
平成28年3月24日 NO. 14
042-541-2940

収穫祭

校長 大竹直行

3月5日(土)に実施しました。雨の心配もありましたが、昼には日が差しました。昨年4月から苗と田んぼの準備から始まり、6月10日に田植えが実施できました。父兄も一緒に田んぼに入り手伝う姿には、感激しました。用水路もきれいにし、田んぼに入る水の流れもスムーズにしました。夏休みには、雑草とりを行い、稲の生育も順調でした。鳥による稲の被害も出て、ネットを掛けて防ぎました。10月29日は、いよいよ稲刈りです。田んぼの水もなく、全員で刈った稲をまとめ、干しました。

脱穀をすると83.5kgのもち米になりました。機械を使いましたが、時間はかかりましたが、白いきれいな、もち米ができました。



収穫祭は、朝早くから地区委員の男性は、火をおこし、臼と杵の準備など、地区委員と福中 PTA の女性の皆さん、1年生の女子生徒は、すいとん、りんご、もちのちぎり等、食事の準備など分担し準備していただき助かりました。おいしいので何回もおかわりをしていました。

参加者は、中学校生徒130名、来賓・地区連・PTA 約100名、共成小と玉川小の6年生約50名、福島芝躰子保存会様の計280名ほどの皆さんに参加して頂きました。ありがとうございました。



2年生総合的な学習 校外学習

総合的な学習「環境学習 水」のまとめとして、校外学習を「上野・浅草」「お台場」に分かれて班行動をしてきました。水と言ったら「昭島」が有名です。

「地下水100%のおいしい水」 昭島市のホームページより

昭島市の水道水源は、地下 70 メートルより深い層を流れる深層地下水をくみ上げています。深層地下水は、山に降った雨や雪が約 30 年という長い年月をかけてしみ込んだものです。水が地層にしみ込む過程において、土壌がフィルターの役割を果たし、不純物を取り除くとともに炭酸やミネラル成分等を溶かしながらしみ込みます。こうして流れてきた深層地下水を利用する昭島の水道は、ミネラルウォーターと変わらないおいしさです。

また、前述したように土壌が浄化の役割を果たすことにより、水質が大変良好となっているため、浄化処理をしていません。薬品は水道法で義務付けられている必要最低限の塩素を加えているのみです。(昭島市の水道水は、定期的に水質検査を行いその安全性は確保されています)

このように、昭島の水はおいしい水なので、そのまま飲んでみてください。

班行動では、「水道歴史館」or「水の科学館」を最初に見学です。その後は、班で国立科学博物館、西洋美術館、科学未来館、船の科学館など、また上野、浅草、お台場などを見学しました。

1年生福祉体験学習(手話)

3月10日5、6校時 「手話」について学んでいきます。

1. 手話ってどんなもの？

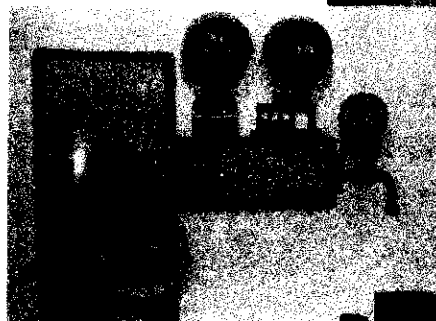
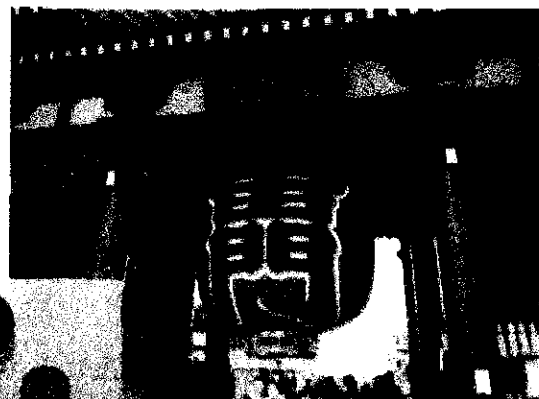
目の不自由な人が周りの人とコミュニケーションをとるために生みだされた、手指を主に使った言葉です。手話は昔からありますが、日本では明治時代に日本で最初の聾学校が設立されたのが、近代手話の始まりとされます。

2. 手話はどうやって話すの？

日本手話は、手指、腕を使った動作だけでなく、表情や口の形などを加えて表現することで、言いたいことを伝達します。日本手話では、伝えたいことを正確に表現するために、手指の動き以外の要素もとても重要です。



1年生手話



2年生 校外学習